

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第8回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】平成25年5月2日(木) 15時～16時

【場 所】以下の3拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：
越野教授室、昭和大学：1号館502号室

【出席者】城教授（岩手医科大学）、越野教授（北海道医療大学）、弘中教授、美島
教授、片岡教授（昭和大学）

————— 議 事 内 容 —————

1) 3大学連携 IT教育の進捗について

岩手医大の城教授から、4月10日にITに関するオリエンテーションを実施し、電子ポータフォリオなどが順調に使用できた旨報告があった。5月20日に矢巾キャンパスで、IT教材を用いたトライアルを実施し、6月7日からIT教材を活用した授業を始める旨報告があった。

2) 3大学連携 IT教育の準備状況について (WG1～WG4)

資料：第7回ITを活用した教育センター会議議事録 別添2, 4, 5, 6

WG1： 現在教材のe-learning化を進めている。ビデオ撮影も検討している。

WG2： ビデオ撮影の準備を進めている。医療面接場面も撮影することを考えている。

WG3： 脳卒中で入院中の患者さんの撮影を進めている。e-learning教材に関しては現在取り組んでいる。

WG4： ビデオ撮影のシナリオを作成した。ビデオ撮影の準備を進めている。

3) 教材のe-learning化について

e-learning教材作成のプロセスとして、IT業者へは必ず教育センターから作業を依頼する旨確認をした。e-learning化の依頼に関して書式を用いる旨確認した。

資料：別添資料1. e-learning教材の作成依頼票.xlsx

4) ビデオ教材の作成について

まずは大学のフォトセンターなどに依頼してビデオ教材を作成する旨確認した。

5) その他


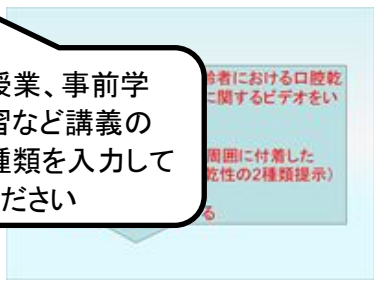
越野教授より、ビデオ撮影に伴う打ち合わせなどの出張旅費の問い合わせがあった。支出に問題がないことを財務課に確認した。

以上




e-learningを活用した授業内容(案)

D3 チーム医療と口腔医学I (チーム医療I), 対象学年:3 年生 後期
 作成者: WG1 美島先生

<p>授業1の概要: 社会背景 (担当WG3, 4)</p> <p>高齢者の身体的・心理的特徴など 人口構成の変化が歯科医療サービスに及ぼす影響</p>	<p>学習項目: 全身がわかる歯科医師がなぜ必要か？</p> <p>学習内容: 日本の高齢化率、将来人口推計から今後の日本の社会と医療を考える。高齢者の身体的、心理学的特徴と高頻度に見られる基礎疾患と口腔疾患を学ぶ。ビデオを通じて、歯科診療と全身状態との関連について考える。</p>
---	---

1時限目 (90分)	構成画面	時間配分	種類	備考	資料2の 場所
授業		—			授業1 P●
		—		動機づけビデオ	授業1 P●
	<p>誤嚥性肺炎と口腔乾燥症</p> <p>口腔乾燥とは？</p> <ul style="list-style-type: none"> 口腔内が乾燥することで、「口が渴く」「食事が食べにくい」「舌が動きにくい」といった症状があり、言葉も不明瞭になりコミュニケーションにも影響を及ぼします。 口腔内が乾燥すると、口腔内の細菌が繁殖しやすくなり、感染症や誤嚥性肺炎などの原因にもなる。 	10分	PPT		授業1 P●
	<p style="text-align: center;">症 例</p> <p>75歳、男性。高血圧で近くの医院に通院していたが、1年前に脳梗塞で倒れてからしばらく入院していた。現在自宅療養中であるが、右半身麻痺が残り、殆ど寝たきりの状態である。現在、抗凝固薬と降圧薬を服用している。</p> <p>睡眠中は口が開いた状態であり、口腔粘膜には潤いがなくかさかさしている。部分的に赤くただれている。</p> <p>また、上顎の入れ歯があわなく落ちてしまうため殆ど使用していない。</p>	10分	PPT		授業1 P●

授業、事前学習など講義の種類を入力してください

		PPT		授業1 P●
<p>この患者さんは口腔乾燥症を発症しています。その原因を2つ書きなさい。</p> <p>・服薬(降圧薬) ・口呼吸 :(各欄10文字以内) 口腔乾燥症に付随する障害をあげよ。</p> <p>・口腔粘膜がかさかさしている。 ・口腔粘膜が赤くただれている。 ・入れ歯があわない。 :(各欄20文字以内)</p>	分	e-learning		授業1 P●
<p>唾液腺の復習 (事前解説資料①の確認) 次の括弧を埋めよ。</p> <p>唾液腺は、(①)、(②)および(③)よりなる大唾液腺と歯肉を除く口腔粘膜に多数分布する小唾液腺よりなります。耳下腺は、ステンセン管と呼ばれる管を有し、(④)側の頬粘膜に開口します。また、顎下腺はワルトマン管と呼ばれる管を通し舌下面の(⑤)に開口します。さらに、舌下腺は、複数の導管を通って舌下小丘ないし(⑥)に開口します。</p> <p>解答欄: ①耳下腺 ②舌下腺 ③顎下腺 ④上唇第一大臼歯 ⑤舌下小丘 ⑥舌下ひだ :(各欄10文字以内)</p>	分	e-learning	<p>e-learning自由記載の場合、学生に記入させる欄を <input type="text"/> としてそこに赤字で解答例を記入して下さい。</p> <p>例 <input type="text" value="唾液腺"/></p> <p>また、文字入力数を●●文字以内と指定してください。解答例が複数ある場合は欄外に赤字で書いて下さい。</p>	授業1 P●
<p>()を埋めよ。 写真を加える</p>  <p>解答欄: ①耳下腺 ②顎下腺 ③舌下腺 ④耳下腺 ⑤舌下 ⑥舌下 :(各欄5文字以内)</p>	分	e-learning		授業1 P●
<p>組織学的には、耳下腺は(①)腺、顎下腺は、漿液腺優位の粘液腺を含む(②)腺、また、舌下腺は粘液腺優位の(③)腺を含む混合腺よりなる。粘液腺は(④)を豊富に含む淡明な細胞質と偏在する核を持つ細胞で、一方、漿液腺は、(⑤)などの酵素を多数含む紫色の顆粒状の細胞質を持つ細胞です。</p>  <p>解答欄: ①純漿液 ②混合 ③粘液 ④ムチン ⑤アミラーゼ :(各欄5文字以内)</p>	分	e-learning		授業1 P●